

平成 17 年 8 月 8 日  
電源開発株式会社

## Ｊパワー ブラジルの CDM プロジェクトから排出権 282 万トンを購入 ～日本企業による CDM クレジット購入量として最大～

電源開発株式会社（社長：<sup>ながきよしひこ</sup>中垣喜彦、以下「Ｊパワー」）は、ブラジル国の廃棄物処理会社であるエセンシス環境ソリューション株式会社（ESSENCIS SOLUCOES AMBIENTAIS S.A）と、同社が実施するクリーン開発メカニズム(以下「CDM」)プロジェクトから発生する排出権クレジット 282 万トンを購入する契約を締結しました。

本プロジェクトは、エセンシス環境ソリューション(株)がブラジル国サンパウロ市北西に所有するカイエイラス廃棄物処分場においてメタンガスを回収・燃焼し、温室効果ガスの排出削減を行うものです。既に日本国政府による CDM 事業承認を得ており、今月中にプロジェクト有効化審査を終了し、CDM 理事会に登録申請を行う予定です。

Ｊパワーは、本プロジェクトより 2006 年から 2012 年までの 7 年間で 282 万トンの排出権クレジットを購入しますが、これまで日本企業が公表した排出権クレジット購入量としては最大となります。

Ｊパワーは、CDM プロジェクトの開発について積極的に取り組んでおりますが、本件のようなクレジットの購入も柔軟に組み合わせて、京都メカニズムの活用を進めてまいります。



カイエイラス廃棄物処分場

なお、本契約の締結にあたっては、Ｊパワーの CDM プロジェクトの開発におけるパートナーである MGM インターナショナル社に仲介を依頼しております。

以上

別紙： カイエiras プロジェクトの概要  
エセンシス環境ソリューション(株)について  
ＪパワーのCDMプロジェクト一覧  
カイエイラス位置図  
MGMインターナショナル社について